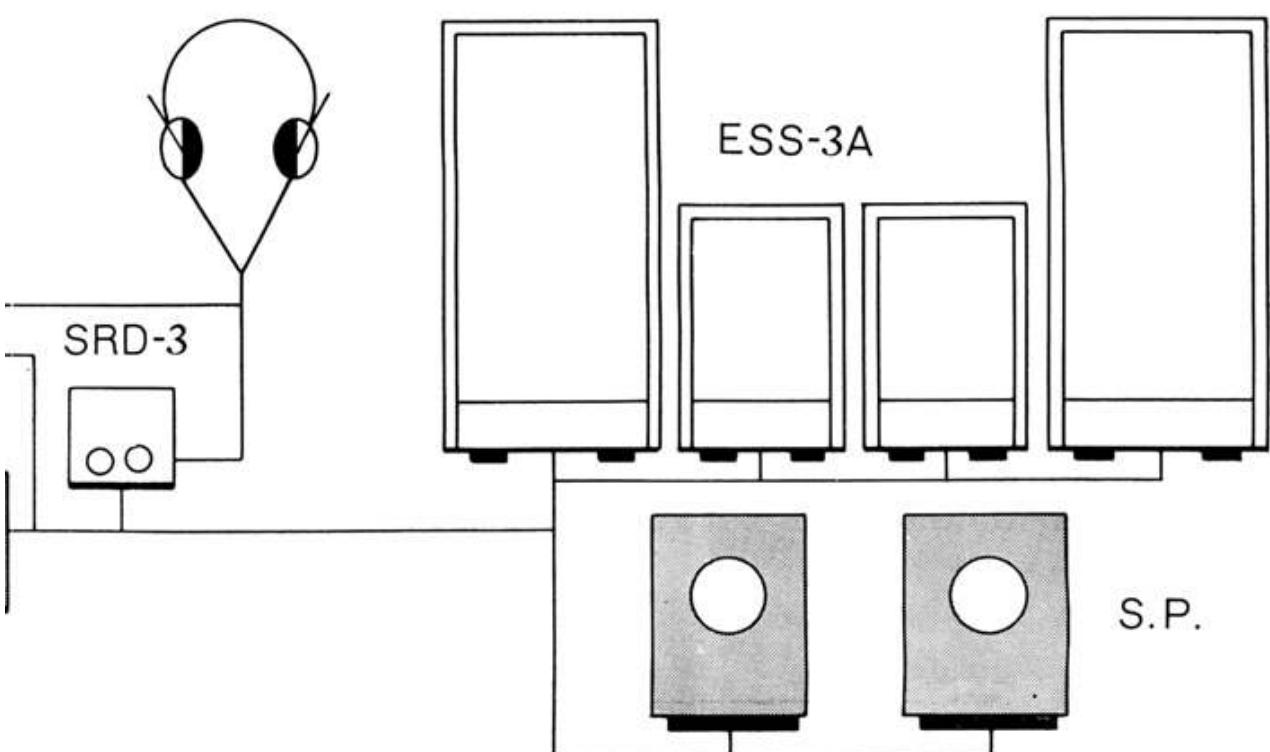


SR-1

ESS-6A



なると明瞭度が失われたり、最も不快な歪の原因と考えられるものです。ですから振動系の質量を極減することは、再生音を原音に近づけるために絶対必要な条件となるものです。STAXが振動系の軽量化をどこまで《実現》しているかその数値を表でごらんください。STAXのコンテンサ型音響機器は、現在、最も軽質量の振動系をもって、《音のオリジナル》に接近しています。

■カートリッジ《針先から見た実効質量》

STAX, CPS-40 0.6mg

STAX, CP-15V 0.8mg

ムービング・コイル型(デンマーク製) 約4.5mg

ムービング・マグネット型(日本製/米国製7種の平均値) 約3.5mg

■スピーカ/ヘッドフォン《振動板の厚さ》

STAX, ESS-3A/6A スピーカー
数ミクロン

STAX, SR-1 ヘッドフォン
数ミクロン

ダイナミック型 ホーン・スピーカー
50~150 ミクロン

ダイナミック型 コーン・スピーカー
数百~数千 ミクロン

人間の鼓膜 300~500 ミクロン